

# 食育という考え



岡崎歯科医師会長  
学校保健会副会長

柏木 博行 氏

## 教育随想



平成18年3月1日

# 3月号

発行・編集  
岡崎市教育委員会

### 今月の紙面

教育随想	1
岡崎歯科医師会長 学校保健会副会長 柏木 博行氏	
この人に聞く	2
技能五輪国際大会「石工」の部 エキスパート 近藤 均氏	
羅針盤	2
英語科指導員 岩城 冬子	
ふれあい	3
岩津 中 兵藤 輝徳	
1年のあゆみ	4
平成17年度研究発表校	6
平成17年度教育研究論文入賞者	7
お知らせ	8
フォト・ヒストリー	10
全校総出の第2運動場整地 (昭和40年)	
この本を	10

今思えば、七十年安保と言われる時代、私は思春期の真ただ中に身を置いていました。当時、高校の文化祭で「教育とは」という命題のもとに、同級生や先生を交えて討論に酔いしれていました。

青二才の身でありながら、生意気に、「教育とは人間形成なり」など、うそぶいていた自分がありました。

あれから三十五年余、このような形で「岡崎の教育」に拙文を寄せるとは思いませんでした。

歯科医の代表として昨年まで学校給食委員会に参加させていただき、年に一度中学生の皆さんと同じ献立で食べました。栄養士の方々のご尽力もあり、当然のことながら、自分の子供時代のメニューとの違いに感

動しました。

時は流れ、日本は豊かになり、何でもそろう飽食の国になりました。

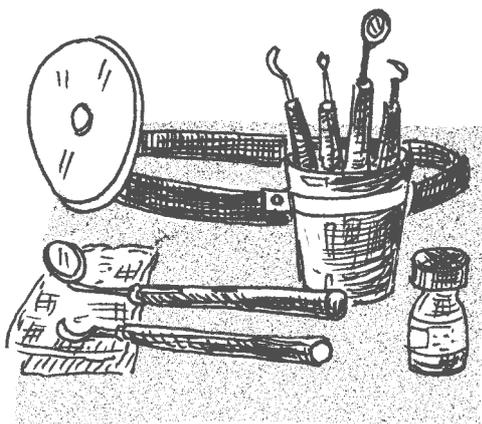
人間、生きていくためには食べていかななくてはなりません。でも、ただ闇雲にたくさん食べたり、偏った食事をしたりますれば、当然、肥満になったり、最近言われるメタボリックシンドローム予備軍になったりします。「食」の安全が問われています。今、バランスのとれた内容で、規則正しい食生活こそが、大切であると思います。

昨年七月に施行された「食育基本法」を基に、教育現場においては、知識や体力を身に付けるだけでなく、たとえ給食の時間といえども、道徳を重んじながら、「食」を大切

に思う気持ちを育ててほしいと思います。

最後に、健康な体を目指す健全な食生活を過ごすためには、歯を含めた健全な口腔環境が欠かせないことも異論はないと思います。

(かしわぎ ひろゆき)





## 石工の技術を 若者に伝える

技能五輪国際大会「石工」の部  
エキスパート

近藤 均 氏

二十二歳までの若い技術者が様々な分野で技術を競う技能五輪大会。二年ごとに開かれる国際大会で四度、近藤さんはエキスパートとして課題作りや審査、大会運営を担われた。

「岡崎技術工学院で日本代表に、石材加工のトレーニングや大会期間中のコンディションの整え方を指導しています。エキスパートに任命されて以来、若者たちに国際大会で力を出し切り、メダルを獲らせてあげたいと強く感じます。」



子供のころは図工と体育が好きで、教師を目指した時期もあった近藤さんが、石との出会いを語られた。

「大学三年生の石彫の授業で、美しく質感が実に柔らかい大理石に触れ、石の魅力に引き込まれました。」

大学院を休学し、イタリアで本場の彫刻を学ぶ経験もされたという。

「歴史的・風土的に木を建築材としてきた日本に比べ、ヨーロッパの国々は石の文化です。それゆえに、国民の石に対する誇りの意識も違います。しかし、日本にもやる気のある若者がたくさんいるだけに、技能五輪に対する国の積極的な支援がもっと必要だと思います。」

安価な外国製品に圧<sup>お</sup>され続ける石材業の実状も憂慮されている。

「今は、全部機械でできる墓石の需要ばかりです。墓石中心の造形には、岡崎の灯ろう作りに集約される

ような高度な石工の伝統技術が生かされません。若者に、ぜひ受け継いでもらいたい大切な技術が伝承されないことが残念です。このことは、日本の多くの産業が抱える大きな問題だと思っています。」

時間を見つけてこつこつと作品作りに励む近藤さんは、毎年展覧会を開かれている。

「いつも彫刻家としての誇りを持ち続けています。機械ではできない付加価値がある仕事を若者に伝えること、そして伝統的なもの、技術の詰まったもの、石の良さを表現したものを、一つでも多く後世に残すことが私の目標です。作品を目にしたとき、安らぎを感じてもらえたとしても素晴らしいことです。」

将来を担う子供たちへ思いを語る言葉にも熱が入る。

「生きる上で最も大切になるものは発想力です。それを身につけるためには、幼いころに感じたはずの自由にものを作る楽しさを、ずっと持ち続けることです。そして、いいものや本物をたくさん見ることです。」

二〇〇七年十一月には、静岡県で技能五輪国際大会が開かれる。いいものや本物を見る絶好の機会である。

氏名 こんどう ひとし  
生年月日 昭和三十四年十月十八日  
住 所 羽根町小豆坂一九四一二

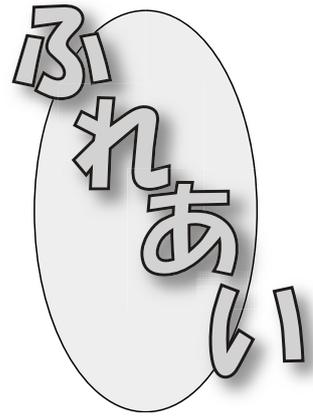


## 英語を使いたくなる 魅力のある授業を

英語科指導員 岩城 冬子

導入で“My dream”をペアで発表し合い、生徒の表情が和らぐ。自分の思いを素直に伝え合う中学三年生の授業の開始。続いて“J.H.S. students should be able to have boy friends or girl friends.”(中学生は男女交際をしてもよい)というテーマで、英語によるダイベート形式の授業へと進む。身近な問題に自分なりの意見を持ち、賛成派・反対派に分かれて意見交換が行われる。さらに、ジャッジが友達のような意見を発表して、判定をしていく。

A教諭は、コミュニケーションにおける三つの重要なポイントとして“Slowly, Clearly, Loud voice”を強調し、英語で指示を出していく。生徒たちは伝えにくい単語の意味をカードで示し、より分かりやすく英語で説明する。



## 先生は第二のオヤジ

岩津中 兵藤 輝徳

『先生は僕にとって第二のオヤジです』。これは、A男の卒業文集の一文である。彼は、私が本校に転任した時の野球部に所属する三年生で、いわゆるレギュラーではなく外野の控え選手であった。公式戦では二年生の出場機会が多く、常にベンチを温めている存在であった。しかし、練習を一日も休むことなく大きな声を出して一生懸命に取り組んでいた。腐ることもなくひたむきに練習に取り組むA男の姿を見て、いつしか「試合に出場させてやりたい」と考えていた。私は試合中、必ずベンチの様子を見る。それは、常に交代選手を考えているからである。その日もベンチの中には、チームのために後輩たちと共に大きな声を出しているA男がいた。「試合に出たい」と頼

書いてあるA男が……。

五月中旬、グラウンドに元気がないA男がいた。声をかけてみると、「自信がない。練習をしても試合に出られない」と肩を落としていた。私は「野球は全員でやるスポーツだ。君は練習や試合中大きな声を出してチームに貢献しているじゃないか」と言うと、彼の目から涙が溢れてきた。「レギュラーの者は努力している。B男はいつも朝早く来て走っている。C男は素振りをしている。他の者も見えないところで努力しているんだ。君がそんな気持ちではチームは強くなれない。スイングスピードを上げ、右方向に力強いライナーが打てるようになったら、試合に出場できる」



と言うと、彼は翌日の練習から再び一生懸命に取り組むようになった。

六月になり、過日の課題がやっとできるようになってきた。また、練習試合でも徐々に先発メンバーとして名を連ねるまでに成長していた。

公式戦、準決勝まで駒を進めた。A男は六回の裏、同点の場面で外野の守備についた。試合は延長戦となり、特別ルールで四点を奪った。私は内心「これでいける」と思った。しかし、その裏の守備で緊張感からか、いつものプレーができず、ミスで三点を返されてしまう。そして、流れが完全に相手に行ってしまった。次打者の三球目、運命の打球がA男の頭上へ飛んでいった。彼の脚が一步二歩と前に出た。しかしその直後、後ろへと下がった。頭上を越されたかと思った瞬間、打球はグローブに収まっていた。ゲームセット。A男を取り囲むチームメートの笑顔がこぼれた。『五月の時点で、野球を諦めかけていたばかりにチャンスを与えてくれた先生に、本当に感謝しています。ありがとうございます』と書かれた文集が私の宝物となった。

指導者でありながらも、時には父親のように、子供たちと心と心で語り合えるようなかわりをこれからも続けていきたい。

“Love makes us both stronger.”

(恋愛はお互いを成長させるもの)

“If I don't pass my entrance exam, what should I do?” (入学試験に落ちたらどうするの)

“Age has nothing to do with love.”

(恋愛に年齢は関係ない)と、次々に自分の思いを伝えていく。

授業の後半、英語の苦手なB男が

“Love is not as easy as you think!”

(愛はみんなが考えているほど簡単なものではない)と主張し、他を驚かせ、喚声と拍手を起こさせた。

一、二年生と、少人数指導授業をきめ細かく行ってきた成果である。英語が好きな生徒たちが、そこにいた。自然に、教師も生徒も「英語を使おう」という雰囲気が出てきた。教師が教えることがある。それを「生徒が学びたい」と思うようにしなければならぬ。そこに教師の熱意と工夫がある。A教諭は、「英語を使って、人と人とのかわりを持たせたい」と、この授業を設定した。

ただ単に単語や文法を教え込むのではなく、スピーチの発表やディベート、ALTとの会話や海外とのメールでの交流などを積極的に取り入れて、生徒が自ら進んで英語を使いたくなるような授業を目指したい。

一年のあゆみ



矢作南小がベスト8に入った全日本バレーボール小学生大会



矢作北中が優勝を果たした東海大会水泳の部四〇〇Mリレー

Table with 4 columns: Date, Event Name, Location, and Winner/Participant. It lists various school sports events such as volleyball, swimming, and track and field competitions throughout the year.



平成17年度研究発表校

月日	校名	分野	研究主題	研究概要	研究資料
6月10日	竜海中	全教科・特別支援	自ら学ぶ力を高める生徒の育成 —教科学習を中心に—	生徒一人一人の「学ぶ力」を育成しようと、昭和38年以来「わかる学習指導」の継続研究を進めてきている。生徒が自ら学ぶ力を身につけることを研究の主眼としていて、「わかる学習」を『基礎基本の定着』『学び方の習得』『学ぶ意欲の発展的向上』の3つの段階にとらえ学ぶ力を育てられるよう、生徒の意識や思いを生かした授業構想を大切に実践を行った。	研究物 研究紀要 学習指導案集 自由研究のまとめ 講師 各教科・領域指導員の先生方
9月30日	小豆坂小	生活・総合的な学習	個が生き、個が輝く生活科・「かがやきタイム」の充実 —確かな観察力に裏づけされた豊かな表現力を育む教育実践を通して—	生活科、『かがやきタイム』を通して、子どもたちに確かな観察力に裏づけされた豊かな表現力を育むため、気づく力、調べる力、まとめる力、発表する力、話し合う力を育もうとした。そこで実体験を通して、視点を明確にした記録を作ることにより、確かな観察力を育み、まとめる活動や発表する活動、話し合う活動を充実し、実践研究に取り組んだ。	研究物 研究紀要 学習指導案集 分科会助言者 連尺小学校長 福應 謙一 先生 安城北中学校長 森本 末男 先生 筑波大附属小学校教員 鷺見 辰美 先生 岡崎小学校長 野村 正文 先生
10月18日	六名小	道徳	響き合いを生かし、豊かな自分づくりを進める子の育成 —「道徳六名単元」の推進と「道徳の時間」の工夫を通して—	「子供の思いや考えが響き合う『道徳六名単元』の推進」、「家庭や地域との連携を大切に道徳性を育む、特色ある取組」に焦点を当てた。資料提示や地域参加型の導入など道徳の時間の指導方法を工夫したり、子供の思いを大切に『六名スクールプロジェクト』や何でも話せる学校・家庭を目指す「健康大作戦」を実施したりして研究を進めた。	研究物 研究紀要 学習指導案集 各学年の年間計画 講師 元西尾市立西尾中学校長 岡田 和幸 先生 矢作南小学校長 松井 伸市 先生 幸田町立中央小学校教頭 近藤 正義 先生
11月4日	上地小	理・生活・総合的な学習	科学が好きな子どもを育てる「上地学習」	「科学が好きな子ども」を、さぐる楽しさ・見つける感動を味わい、学び合う喜びを感じ、新たな考えやものを創造する子どもと考え、研究に取り組んだ。「生き生き夢中サイエンス」「ちびっこサイエンスたんけんたい」「知の総合化をはかるサンクタイム」などのプロジェクトを通し、意欲・主体性・思考力を高め、個性化を進める授業を実践した。	研究物 研究紀要（学習指導案集） 講師 愛知教育大学教授 吉田 淳 先生 鳴門教育大学教授 西村 公孝 先生 千葉商科大学助教授 宮崎 緑 先生
11月9日	常磐東小	算数	「できたよ」「わかったよ」学びたい算数の学習 —「考える足場」で自力解決の見通しを持たせる授業—	学力向上を目指し、「考える足場」を設定した授業を展開した。「考える足場」とは、本時問題の解決を促進するのに、役立つ基礎・基本となる知識や考え方である。また、「学級内習熟度学習」を組織し、個に応じた学習形態をとったり、クラス全体やペアで互いの考えを聞き合ったりする「ひびき合う学習」を行ったりし、実践研究を進めた。	研究物 研究紀要 学習指導案集 講師 横浜国立大学教授 石田 淳一 先生
11月22日	北中	教育全般	新北中教育への挑戦 —君の笑顔を求めて—	平成11年度から9年間という長期展望に立った学校改革に取り組んできた。めざす子ども像として3つの笑顔「真剣に取り組む姿」「思いつき楽しむ姿」「満足感あふれる姿」を掲げ、「10の視点」からアプローチを図っている。平成15年度からは教師、子ども、保護者、地域の4者による学校評価を取り入れ、教育活動の見直し・改善に活用している。	研究物 研究紀要 学習指導案集 講師 園田学園女子大学教授 野口 克海 先生 岡崎市立矢作北中学校長 明保 俊通 先生 岡崎市立六ッ美中学校長 岩月 慎自 先生

○全日音研……根石小・緑丘小・矢作南小・竜南中・矢作中

10月13日 14日	市内五校	音楽	いま、音楽に夢中広がる学びのステージ	平成15年度より全日本音楽教育研究会からの委嘱を受け、岡崎市音楽部員の総力の元、音楽科教育における子供の『学び』について研究を深めた。授業における学びが集会活動や部活動に向けて、また社会教育の場としてのジュニア活動に向けて、いかに広がりを持って連続していくか。また、広がりを持った学びがいかに授業に再構築されていくか。『広がる学びのステージ』に着目し、授業研究、研究演奏、それぞれの立場で実践、研究に当たった。	研究物 研究紀要 学習指導案集 評価規準例集 講師 愛知教育大学助教授 新山王政和 先生 愛知教育大学助教授 小泉 恭子 先生 岡崎市教育委員会 鈴木 聰一 先生 愛知県総合教育センター 岩崎 義高 先生 蒲郡市教育委員会 小川 和人 先生
---------------	------	----	--------------------	---	---

平成17年度教育研究論文入賞者

●個人研究の部

最優秀賞

Table with 4 columns: 氏名, 学校名, 教科領域, 研究主題. Rows include 森下 成樹 (豊かで確かに伝え合う子供の育成) and 小川 恵子 (豊かな発想をし、自己表現をする楽しさを味わう授業).

優秀賞

Large table listing award winners with columns for name, school, subject, and research topic. Includes names like 近藤志づ代, 早川 弘子, 小川真奈美, etc.

<論文入賞者数>

Summary table of award counts. Columns: 賞 (個人, 共同), 最優秀, 優秀, 佳作, 合計/応募数. Total counts: 4, 50, 100, 154/367.

佳作

Large table listing award winners with columns for name, school, subject, and research topic. Includes names like 朝倉 智子, 堀木 優美, 藤谷 朋子, etc.

●共同研究の部

最優秀賞

Table with 4 columns: 現職教育部署, 常磐東, 算数, 「できたよ」「わかったよ」学びたい算数の学習.

優秀賞

Table with 4 columns: 国語授業研究部, 本宿, 国語, 自己を正しく見つめ、生き生きと歩む子どもの育成.

佳作

Table with 4 columns: 大山 圭子, 中山美奈子, 大樹寺, 算数.

# お知らせ

## ● 教育最新情報

### ○ 海外研修報告

〔研修先〕 イギリス

〔研修日〕 十月三～十二日

〔研修者〕

山中小学校 羽根潤一夫

竜美丘小学校 近藤志づ代

北中学校 鈴木 誠

〔目的〕 イギリスの学校教育

における「教育改革」

の現状を把握し、本市

の教育活動に生かす。



▲ レイクサイド初等学校にて

### 〔研修内容〕

#### テーマ① ◆ 学校運営の実態

#### 地域や家庭から

#### 信頼される学校経営

・ 学校理事会による運営

（保護者、地域、LEA

〔地方教育当局〕で構成

・ 保護者との契約

・ オフステッドによる外部

・ 評価（教育水準監査局）

・ 学校の自己評価

・ 校内、LEA、大学にお

ける教員研修

・ 親が付き添う登下校

・ 監視カメラなどによる安

全対策

#### テーマ② ◆ 初等教育

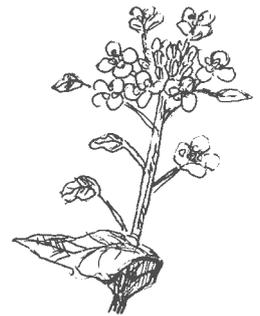
#### 学習意欲と基礎学力を

#### 高める教育実践

・ 外部講師を招いた授業や

・ 備品の充実

・ 習熟度別のクラス編成



▲ イーブンロード初等学校の授業

#### テーマ③ ◆ 中等教育

#### 基礎基本を生きる力に

#### 高める教育実践

・ 習熟度別編成の授業

・ イギリスの文化を生かす

・ 「市民性教育」の実践

・ 生徒の礼儀の向上

・ 生徒同士が互いの姿で

学び合う

・ 健全育成への取組

・ 豊富な人員で全ての生

徒を学校にとどめて指

導

・ 生徒会・LEAの協力

・ 相談室等条件整備

・ 読み・書き・計算の重点  
・ 早期教育  
・ ア 五歳からの義務教育  
・ イ 就学前（一年間）教育

この研修で、我々が最も印象に残ったのは、ロンドンのワンスワース地区にあるグレンビー中等学校である。

まず、そこでは、オフステッド（教育水準局）による「Outstanding（特に優れている）」の評価を示すプレートが目に残った。

そして、教頭による概要説明の後、生徒会代表のウイリアムズ君とマーゴットさんの二人が校内を丁寧に案内してくれたことにも驚いた。

習熟度別編成の数学の授業を参観した折、担当教師からは下位の生徒にも学習意欲の低下はないという説明があり、「私の友達も、数学が大切な教科であることを理解して、自分の力量に見合った内容の授業で向上したいと考えている」と話してくれた。

制服姿の下級生三学年と私服姿の上級生二学年が混在する休憩時間の校庭では、あちらこちらで異学年でも仲よく談笑する姿があった。

ウイリアムズ君が、「自分は四十分以上かけてバス登校

をしているが、『反いじめ精神』に共感してこの学校を選んでよかったと思っていると語ってくれた。

詳しく話を聞くと、いじめ問題への対応の仕方について生徒が特別な研修を受け、生徒からの相談にのったり、教師立会いではあるが争いごとの仲裁をしたりしているというのである。

学校運営に生徒を積極的に取り込んでいく方針について、学ぶことの多い訪問であった。

文化や国民性の違いはあるが、学校運営のあり方について、我々が今後の学校教育において参考にできる大変よい機会であった。

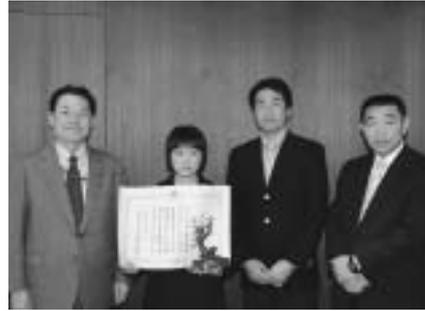


▲ ティーチングアシストの授業

●表彰

◆第五十一回青少年読書感想文  
全国コンクール

内閣総理大臣賞(自由読書部門)  
竜海中三年 植田 美咲



▲柴田市長、植田さん、手島教諭、大久保校長

◆全国中学校文芸作品・歌曲  
創作コンクール

文部科学大臣奨励賞(作文の部)  
東海中三年 加藤 香衣  
◆全国野生生物保護実績発表大会  
日本鳥類保護連盟奨励賞 生平小学校  
◆平成十七年度NHK全国俳句大会  
ジュニアの部 入選  
河合中三年

杉田 好、杉山奈央  
河合中二年  
浅井博貴、大久保圭悟、倉橋伽奈  
神谷祐輔、倉橋翔、大久保匡  
◆全国こども科学映像祭  
佳作 東海中学校  
生平小五年 橋本大輝

◆愛知県アンサンブルコンテスト  
打楽器八重奏

※東海大会金賞で全国大会に出場  
フルート四重奏 金賞 竜美丘小学校  
※東海大会最優秀賞  
金賞 竜海中学校

金管八重奏 銀賞 竜美丘小学校  
銀賞 竜海中学校  
クラリネット八重奏 銀賞 岩津中学校  
銀賞 竜美丘小学校  
サクソフォン四重奏 銀賞 竜美丘小学校  
銀賞 岩津中学校

◆第三回ふるさと岡崎メディア  
コンクール

●生涯学習部門  
最優秀賞  
「北中の夜明け」  
北 中 森 竜師 教諭  
●学校教育部門  
最優秀賞  
「平成島の生き物たち」  
藤川小 竹内 昭博 教諭  
●児童生徒作品部門  
最優秀賞  
「スジエビの住む川2」  
山中小五年 内田 智文

◆「家庭の日」県民運動啓発ポスター  
努力賞 六ツ美中一年 高橋 奈美  
梅園小三年 加藤絃玖子  
矢作北小五年 岩月 遥

◆愛知県読書感想文コンクール  
優秀賞

※(◎)は全国へ出品  
◎六ツ美北部小二年 萩原 緑  
優良賞  
上地小二年 足立 光治

井田小四年 加藤 直真  
大樹寺小五年 村田 有沙  
岡崎小五年 三浦麻里恵  
◎藤川小六年 石川 奈穂  
◎六名小六年 加藤 正悟  
◎甲山中二年 稲垣 真凜  
甲山中二年 武笠 真結  
甲山中三年 近藤 朱美

●市長賞(読書感想文)

大門小一年 戸矢 早織  
小豆坂小四年 種村 雪  
竜海中三年 植田 美咲  
●市議会議長賞(読書感想文)  
岡崎小二年 梅村 享佑  
本宿小五年 小栗 奈穂  
東海中三年 高嶋 志帆  
●岡崎南ライオンズクラブ会長賞  
(読書感想文)  
生平小一年 高木 萌絵  
矢作西小六年 矢尾板雅美  
甲山中三年 近藤 朱美

◆公益信託サントリー世界愛鳥基金  
地域愛鳥活動助成部門 生平小学校  
◆全国学校ヒートアップコンクール  
奨励賞 秦梨小学校

◆こども音楽コンクール全国大会  
中学校重奏部門

文部科学大臣奨励賞 城北中学校  
◆第五十七回岡崎市民駅伝競走大会  
男子の部(三〇・一km)  
優勝 矢作中学校 A

二位 東海中学校 A  
三位 葵中学校 A  
四位 南中学校 A  
五位 竜海中学校 A  
六位 六ツ美中学校 A  
●女子の部(一一・七km)  
優勝 矢作中学校 A  
二位 南中学校 A  
三位 竜南中学校 A  
四位 城北中学校 A  
五位 六ツ美中学校 A  
六位 矢作北中学校



▲第57回岡崎市民駅伝競走大会

●平成十七年度の出版物

書名	出版日	著者
子供とつくる楽しい授業第25集 —理科学習における問題意識の連続と深まりを求めて—	平成18年3月	岡崎市現職研修委員会理科部
郷土読本「岡崎」中学校編	平成18年3月	郷土読本岡崎編集委員会
岡崎市中学校学習指導計画	平成18年3月	教育課程第2委員会
地域カリキュラムで総合的な学習を創る	平成17年7月(明治図書)	鳴門教育大学 西村 公孝 愛知教育大学 久野 弘幸 岡崎市現職研修委員会 総合的な学習部
開校70年記念誌「あすなろ」	平成17年5月	羽根小学校 羽根小学校PTA
開校80周年記念誌	平成17年10月	矢作西小学校 開校80周年記念事業実行委員会等
「確かな学力」を育てる算数授業72選 1～3年編と4～6年編	平成17年12月(明治図書)	岡崎市算数・数学教育研究会
おかざきっ子の造形	平成17年9月	造形おかざきっ子展記念誌編集委員会

・カ  
ツ  
ト  
大 門 小 山 中 武

## 全校総出の第2運動場整地 (昭和40年)

写真提供：河合中学校

昭和三十九年ごろの河合中学校は増設・新設ラッシュであった。三十九年には特別教室棟・駐車場・自転車置き場、四十年には第二運動場、四十二年に体育館と相次いで完成している。

写真は、全校総出の運動場整地作業の様子である。木の根っこがいたるところに顔を出し、たいへんきつい作業であることが推測できるが、学校を創るといふ意気込みが伝わってくる。

高度経済成長長期に突入した日本は、公共事業真つ盛りであった。今ある学校規模はこの時期に作られたと言えよう。生徒たちの手伝いも貴重な戦力であり、学校を自分たちの手で創るといふ気持ちは、大変強いものがあつた。



## この本を

- \* 国家の品格 藤原 正彦 ￥680  
新潮社
- \* いまを生きるちから 五木 寛之 ￥1300  
NHK出版
- \* 流転の海 (第4部) 宮本 輝 ￥743  
新潮社
- \* 連続性の哲学 C.S.パース ￥745  
岩波書店

\* **ウズベキスタンの桜** 中山 恭子 ￥1800  
KTC中央出版

著者は、北朝鮮の日本人拉致問題やキルギスの日本人人質事件で、その救出に命がけで取り組んだウズベキスタンの元大使である。

タイトルの『ウズベキスタンの桜』は、第二次世界大戦後、旧ソ連から強制移送され、異国の地で亡くなった元日本兵の墓地に、桜の木を植えるプロジェクトの話からついたものである。著者の人柄か、ウズベキスタンへの温かい思いが伝わり、行ってみたくなる。

岡崎げんき館(仮称)が、二年後の平成二十年三月に開館されようとしている。「元気と活力を創造する拠点づくり」を整備目標にして、「健康、交流、にぎわい」の三つのテーマが掲げられている。計画段階から市民が参画しており、私たちの健康促進に期待が持てる。

白梅が花をほころばせ、香りを漂わせるようになってきた。

長かった今年の冬もいよいよ終わりを告げる。学校でも終わりを迎えるこの三月。寂しさを感じる一方、次にある出会いへ胸を高鳴らせるのも今。今年度のまとめをして、より良い来年度へとつなげていきたい。

## シオ スア

明日への夢と希望を抱いて胸を張る卒業生。その眼差しは輝く未来へと向かう。「いつも君たちの周囲には、心強い支えとなり優しく見守ってくれる人がいる。これまでも、そしてこれからも。」

尺きない思いの中で巣立っていく子供たちに贈りたい言葉である。

筋書きのないドラマが繰り広げられたこの一年。市内だけでなく、県、東海、全国と、様々な分野で、数々の活躍を見せた子供たち。その陰には、自身のためまぬ努力のみならず、多くの人の支えがあつたことだろう。そのことを感じ取れる子供を育てていきたい。